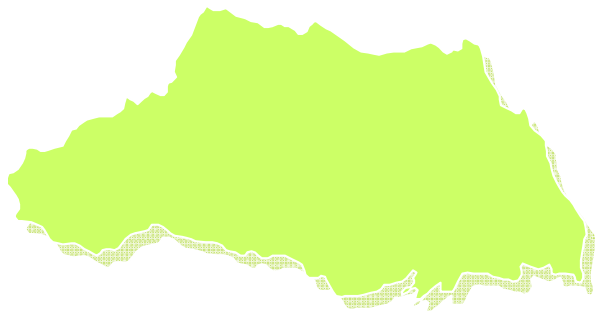




埼玉県道路交通状況について

目次

1. 埼玉県の道路網
2. 埼玉県の人口
3. 埼玉県の自動車保有台数
4. 埼玉県の交通量
5. 埼玉県の渋滞状況
6. 埼玉県の混雑度
7. 埼玉県の混雑時旅行速度
8. 埼玉県の主な事故危険区間
9. 埼玉県の事故発生状況
10. 埼玉県の地域間流動
11. 企業の誘致(企業立地の魅力)
12. 防災(首都直下地震時の首都圏への応援等)
13. 首都圏3環状道路の開通予定
14. 埼玉県の道路交通状況【総括】

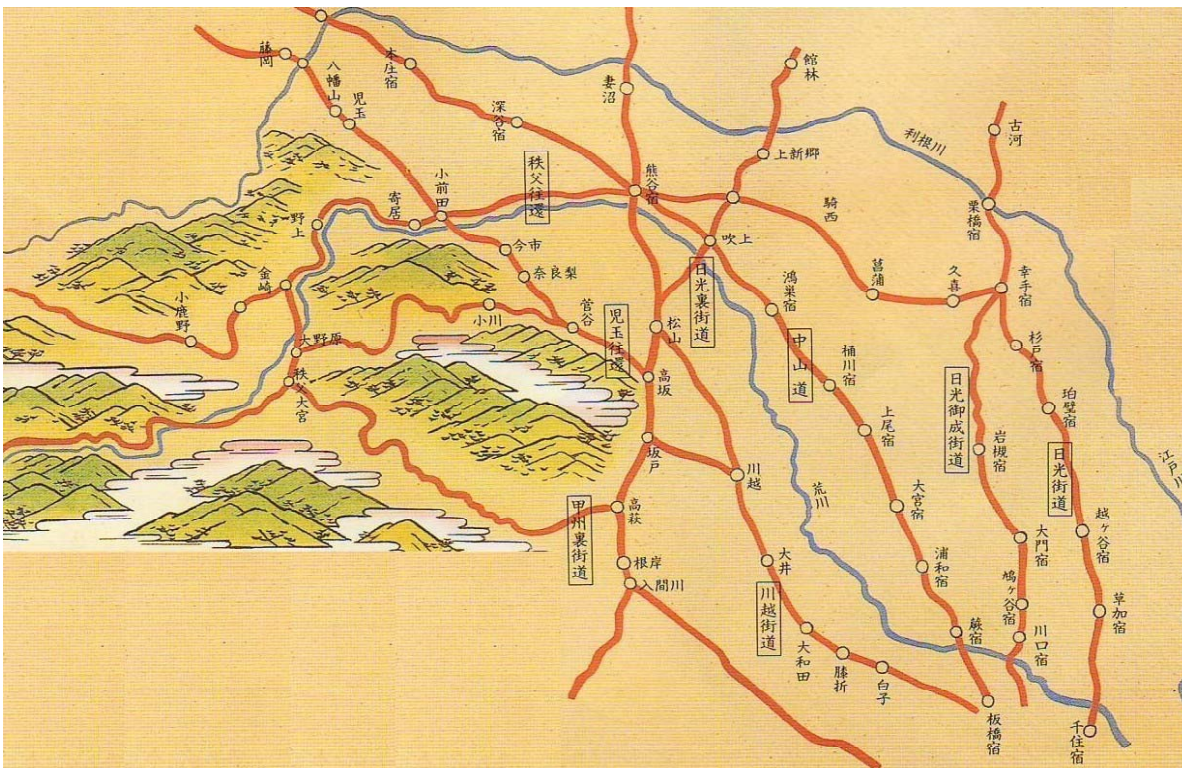
平成24年3月22日

1. 埼玉県の道路網

- ・埼玉県の道路網は、歴史的に江戸時代の街道が基幹的な幹線道路へと変化したことや、荒川などの河川が南北に位置していることなど地理的な分断要素により、南北方向に比較し東西方向の道路が脆弱。
- ・関越自動車道や東北自動車道の基幹ネットワークがある南北方向に比べ、東西方向の移動には所要時間がかかっており、時間距離の格差が生じている。

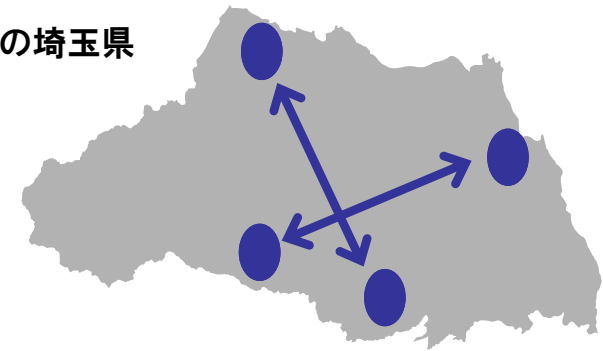
南北方向と東西方向の時間距離格差(イメージ)

江戸時代の街道網

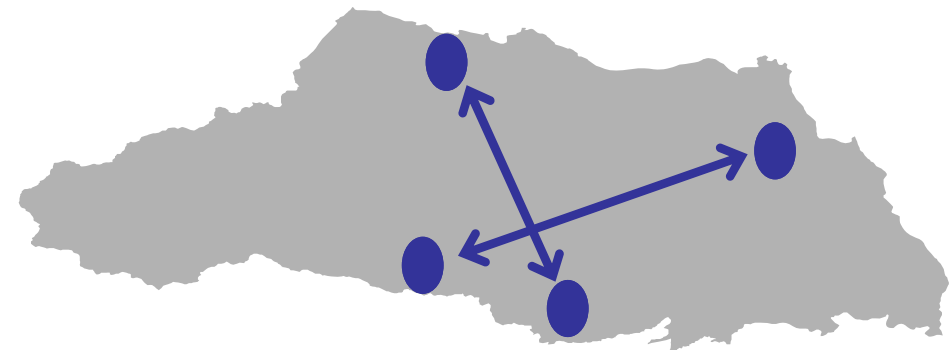


出典: 埼玉県

■実距離の埼玉県



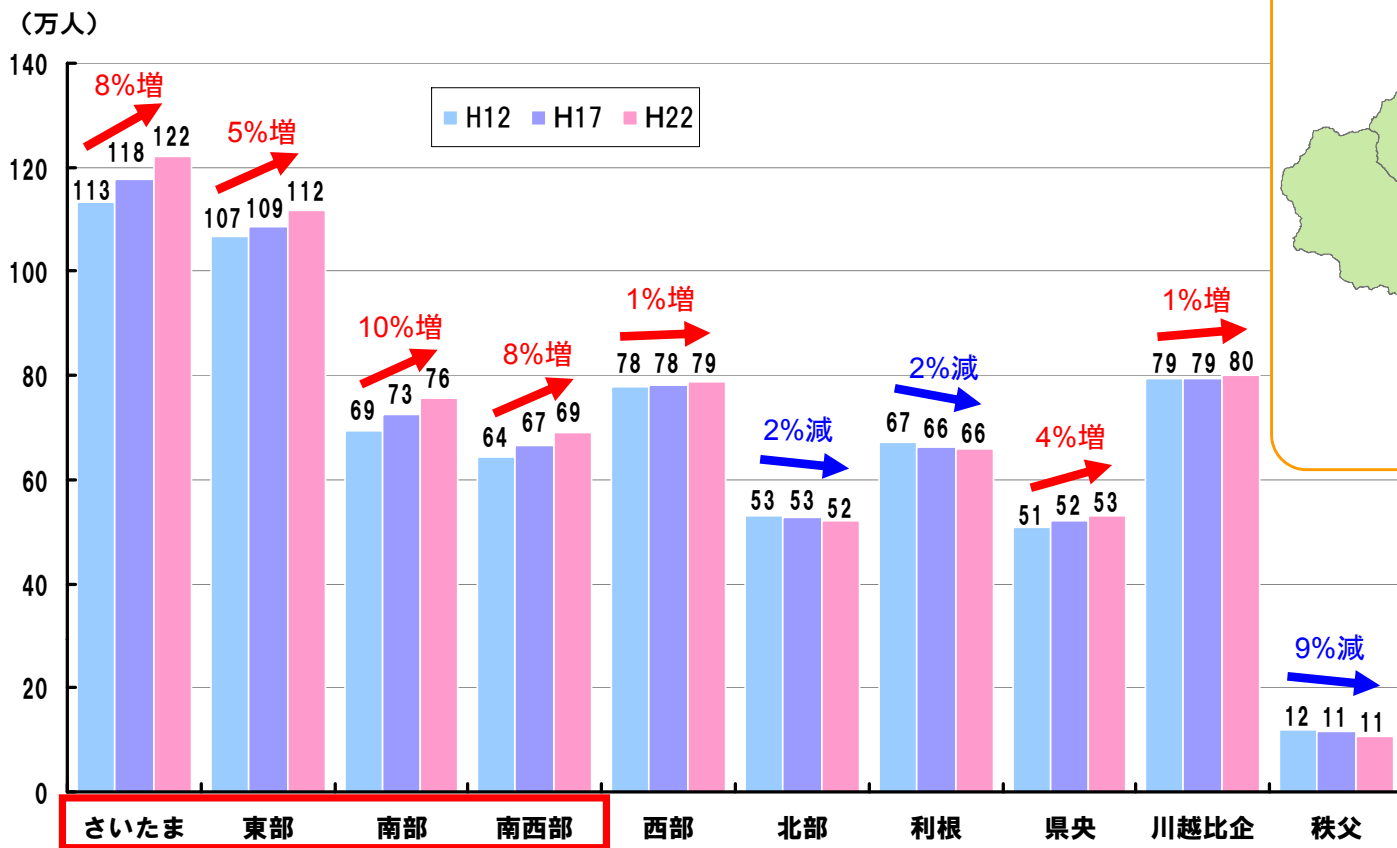
■所要時間でみた埼玉県



2. 埼玉県の人口

- 埼玉県では、特に人口が集積する県の南部地域(さいたま地域・東部地域・南部地域・南西部地域)において人口増加が顕著。

埼玉県の地域別人口の推移



圏域区分

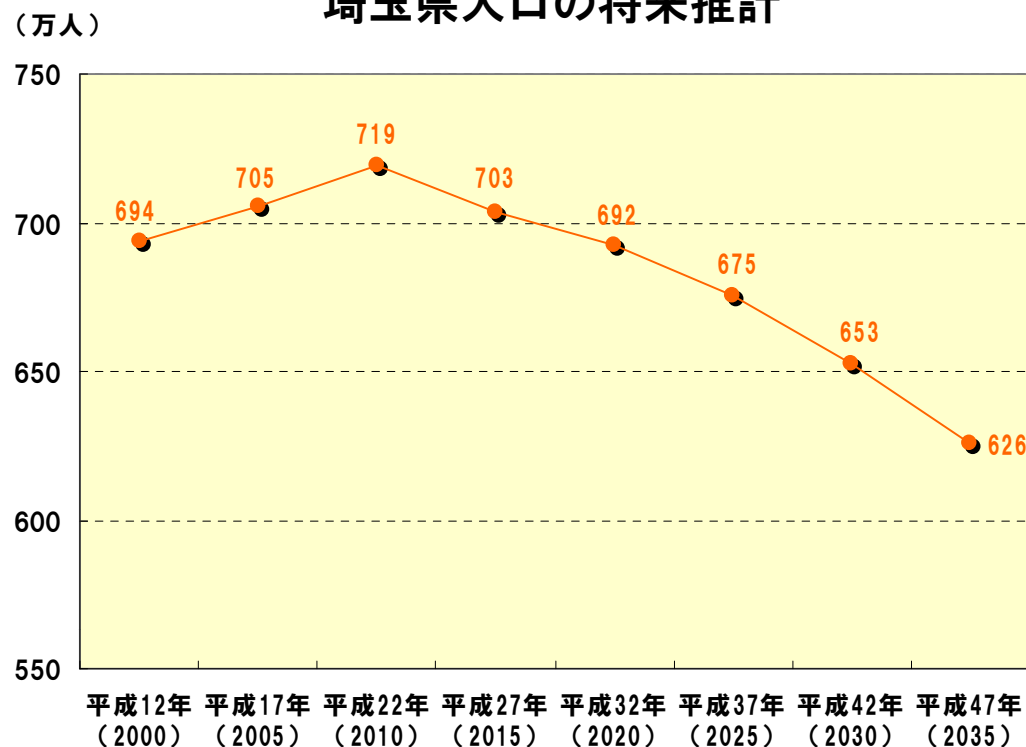


出典:H22国勢調査

2-1. 埼玉県人口予測・高齢化率

- ・埼玉県の人口は増加傾向にあったが、平成22年を境に減少する予測
 - ・埼玉県は今後早いスピードで高齢化が進み、平成47年には高齢化率が全国平均を上回る予測
- 高齢化に対応した道路交通施策が必要

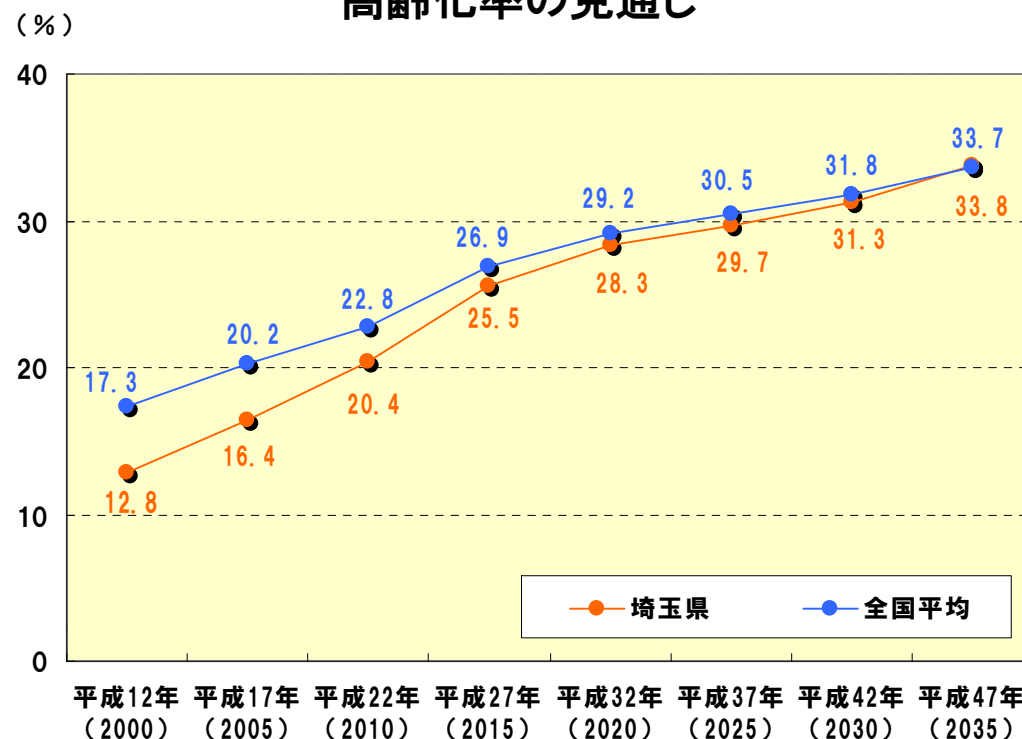
埼玉県人口の将来推計



資料:平成12～22年 国勢調査

平成27～47年 日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)国立社会保障・人口問題研究所

高齢化率の見通し



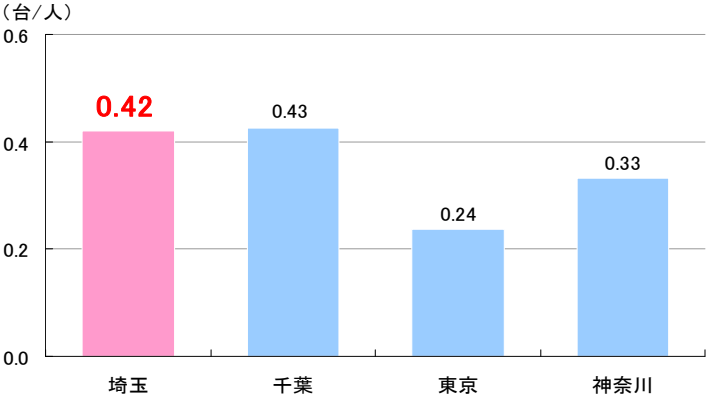
資料:平成12～22年 国勢調査

平成27～47年 日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)国立社会保障・人口問題研究所

3. 埼玉県の自動車保有台数

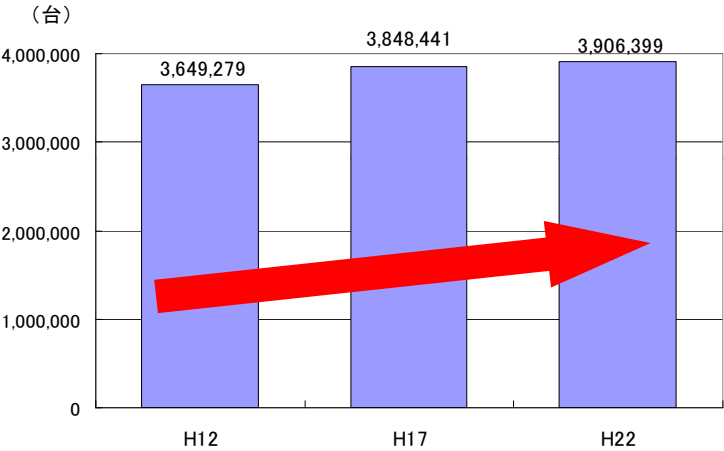
- ・埼玉県内の**自動車保有台数は増加傾向**
 - ・埼玉県の人口当たりの**乗用車保有台数は、千葉県と並び一都三県で最も多い**
 - ・埼玉県における旅客輸送の66%、貨物輸送の99%を**自動車交通が分担**
- ⇒自動車への依存度が高い

人口当たり乗用車保有台数(一都三県の比較)



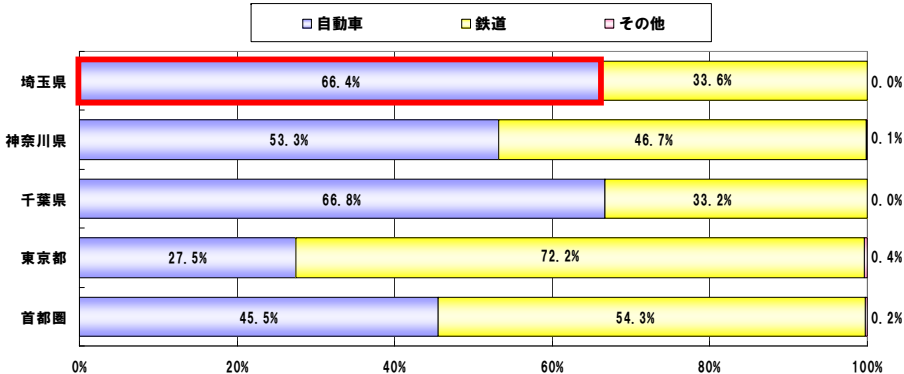
出典:自動車保有台数(H23)-(財)自動車検査登録情報協会
人口-H22国勢調査
算出方法:乗用車保有台数(軽自動車含む)／人口

埼玉県における自動車保有台数(軽自動車含む)



出典:(財)自動車検査登録情報協会
<http://www.airia.or.jp/number/index.html>

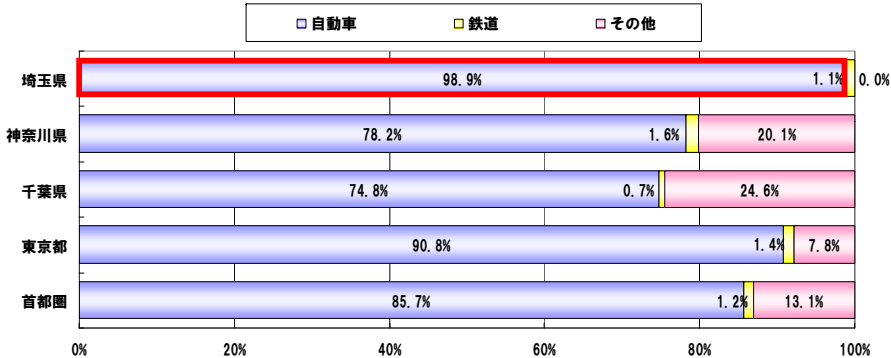
輸送機関分担率(旅客)



※構成比は、各機関の年／年の構成比
※自動車は、営業用乗用車、自家用乗用車、乗合バス、貸切バス、自家用バスの合計
※鉄道は、JR(定期、定期外)、民鉄(定期、定期外)の合計
※その他は、旅客船、航空の合計

資料:H21年度旅客地域流動調査 国土交通省

輸送機関分担率(貨物)



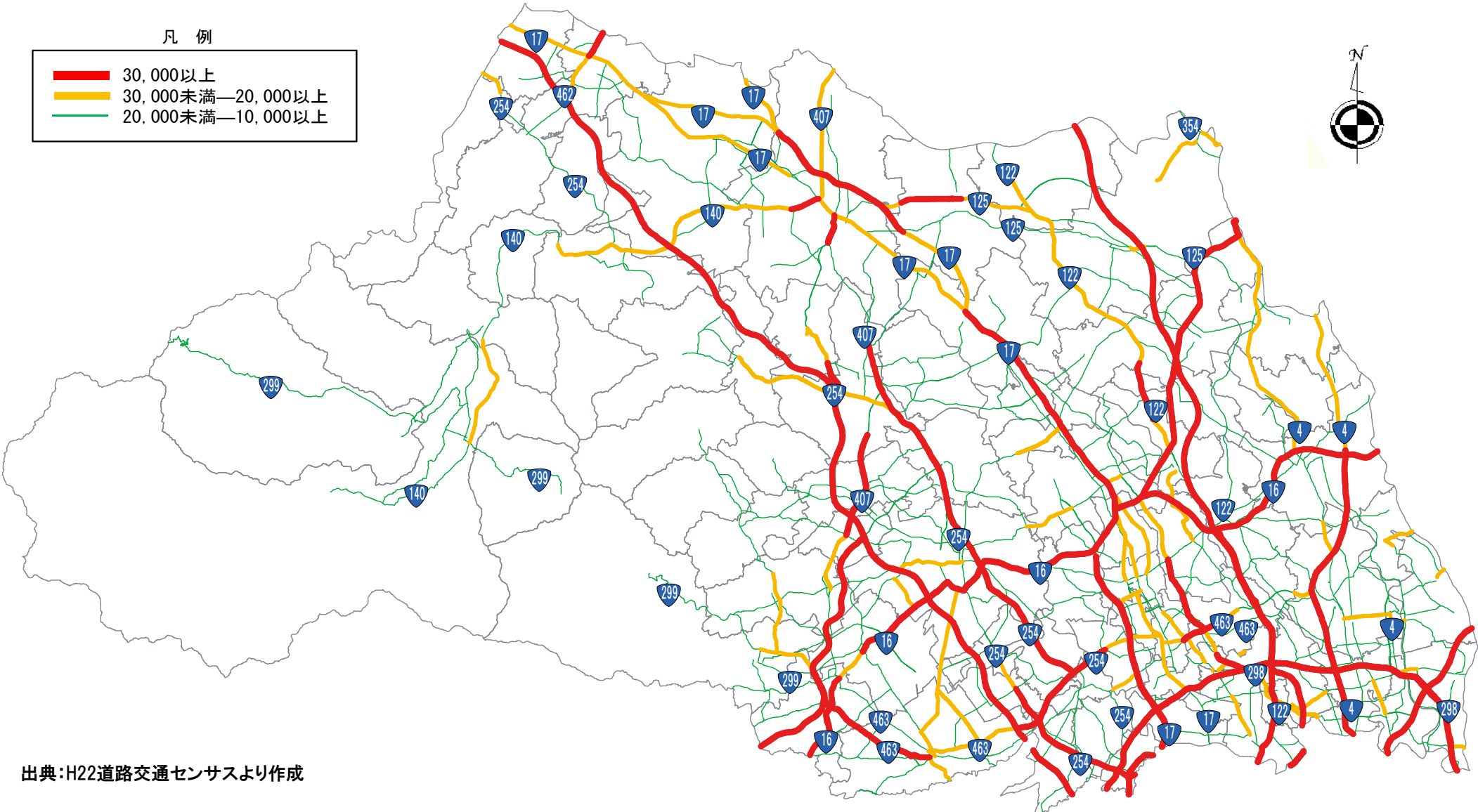
※構成比は、各機関の単位:トン／年の構成比
※自動車は、営業用及び自家用貨物自動車で輸送された全貨物
※鉄道は、車扱貨物及びコンテナ貨物で日本貨物鉄道が輸送したもの
※その他は、海運で港湾調査規則による港湾の海上移入貨物を対象

資料:H21年度貨物地域流動調査 国土交通省 4

4. 埼玉県 of 交通量

- 平日交通量が30,000台／日以上 of 路線は、南北方向は国道4号、17号、122号、254号、また、東西方向は国道16号、298号等である。

平日 24 時間交通量（台／日）別路線図

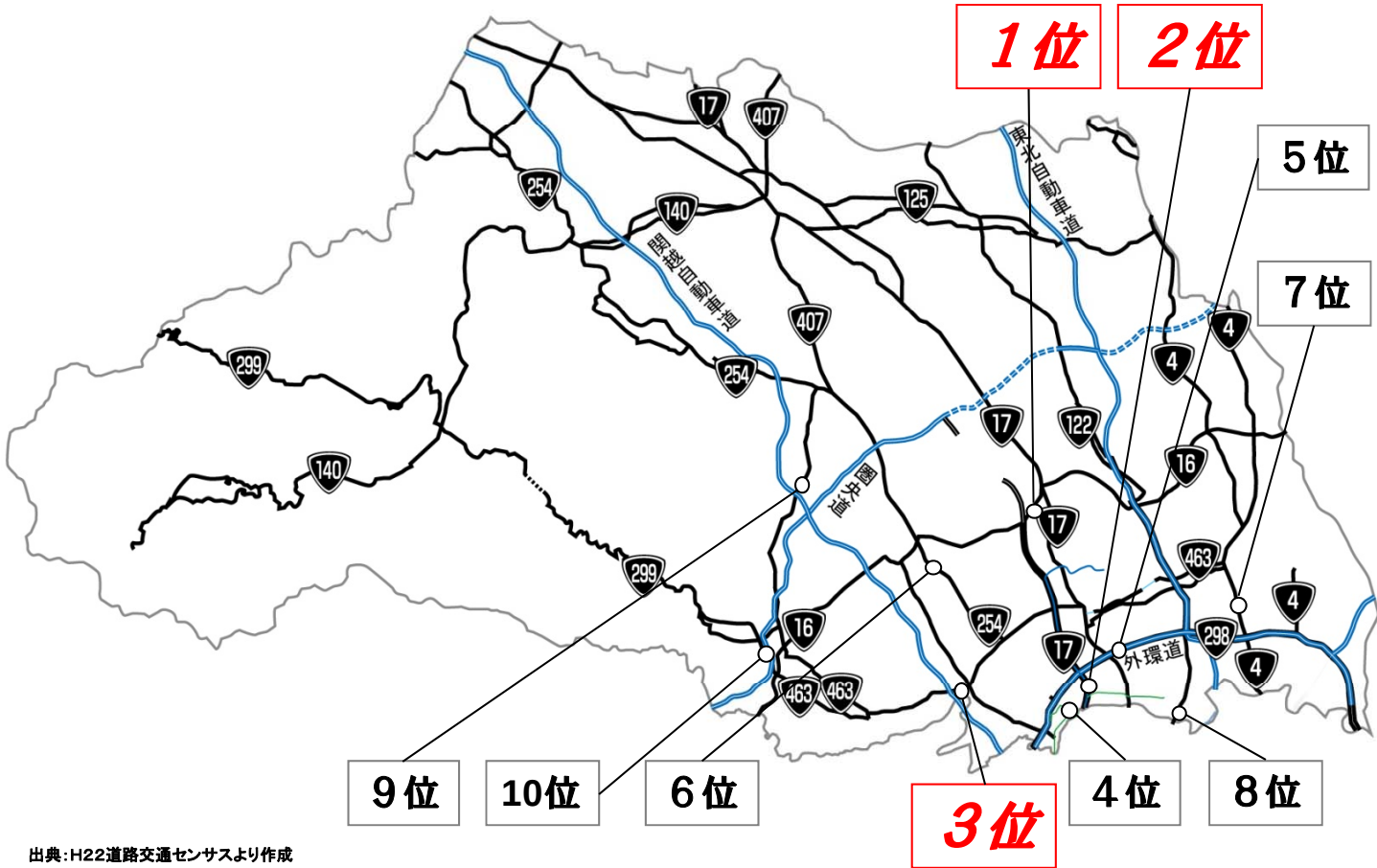


4-1. 埼玉県内の一般道路 交通量路線別トップ10

埼玉県内の一般道路 交通量路線別トップ10(昼間12時間)

ランキング	路線名	交通量観測地点地名	車線数	昼間12時間 自動車類交通量 (台)
1位	一般国道16号 [新大宮バイパス重複区間]	さいたま市西区内野本郷212番地1先	6車線	54,622
2位	一般国道17号 新大宮バイパス	戸田市早瀬1丁目24番地先	6車線	52,714
3位	一般国道463号	新座市中野1丁目1番地先	4車線	38,070
4位	主要地方道 練馬川口線	和光市白子4丁目1番地先	4車線	37,723
5位	一般国道298号	さいたま市南区文蔵3丁目12先	4車線	36,848
6位	一般国道254号	川越市南田島524-1	4車線	35,816
7位	一般国道4号	草加市長栄町577番地7先	4車線	31,252
8位	一般国道122号	川口市舟戸町2番地3先	4車線	29,966
9位	一般国道407号	鶴ヶ島市脚折町1丁目35番地先	4車線	29,624
10位	一般国道299号	狭山市大字笹井3307番地先	4車線	29,369

一般国道の有料区間を除く。また、1路線につき1区間のみ対象。車線数は標準的な車線数を表記。



1位: 国道16号(新大宮バイパス重複区間)
(さいたま市西区内野本郷地先)



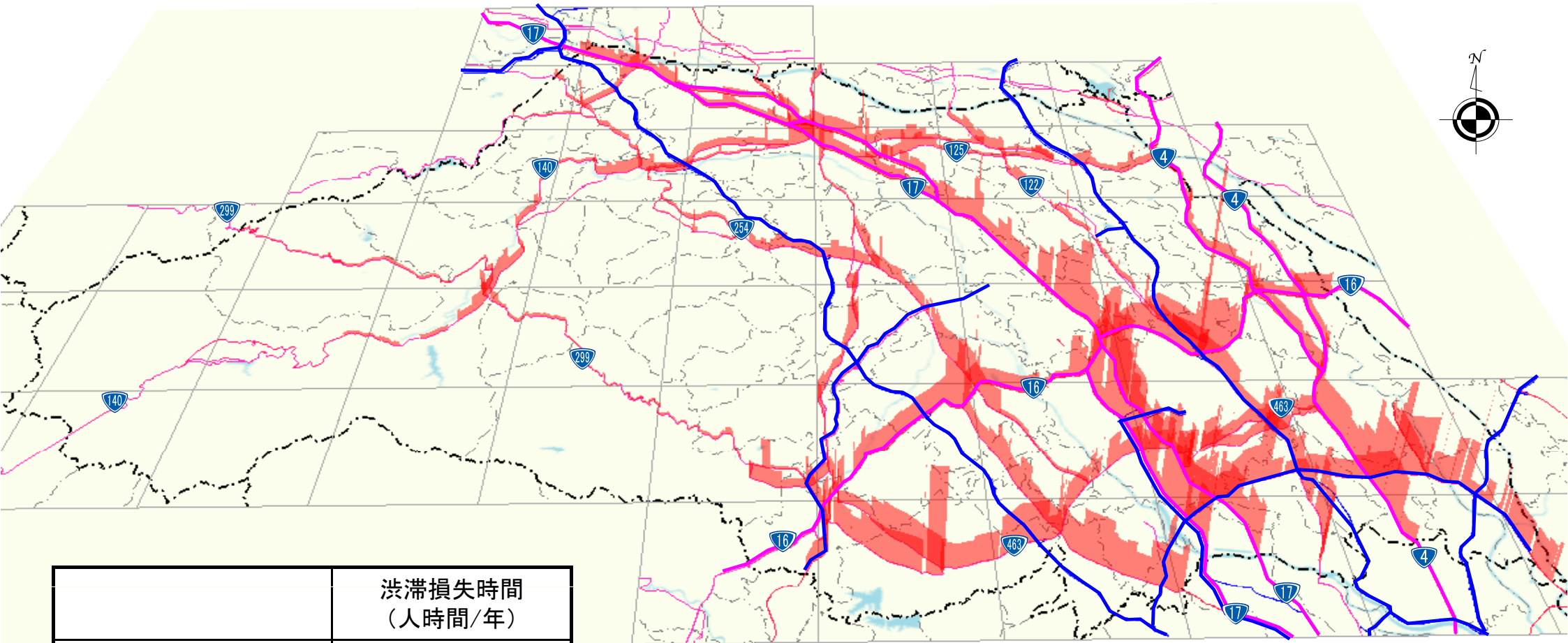
2位: 国道17号新大宮バイパス
(戸田市早瀬地先)



3位: 国道463号
(新座市中野地先)

5. 埼玉県の渋滞状況

・埼玉県では、県全体の約2割の面積である県南地域(国道16号を含む内側地域)に、約6割の渋滞が発生

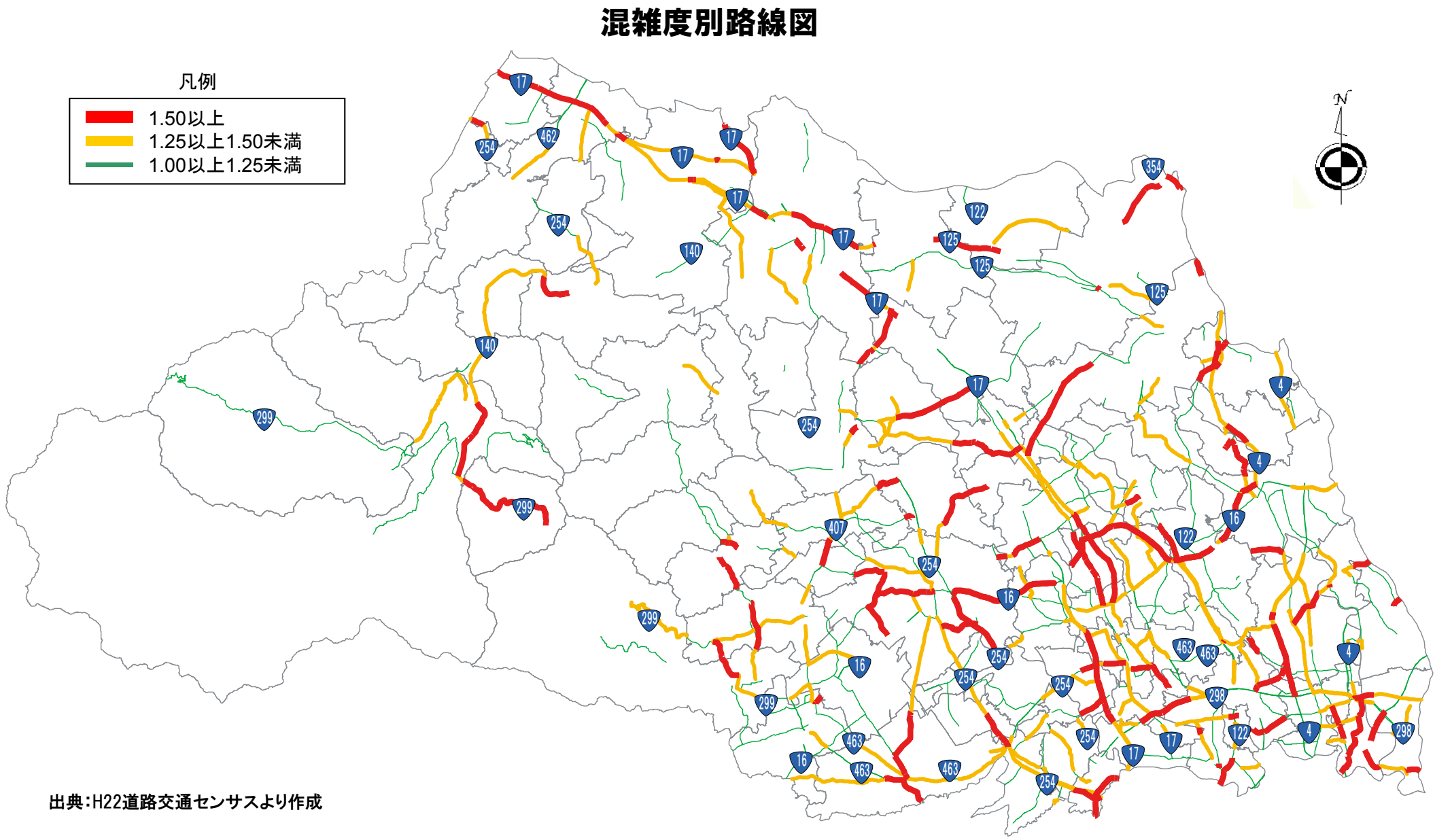


	渋滞損失時間 (人時間/年)
埼玉県全体	109,962,670
県南地域 (国道16号を含む内側)	66,004,614
構成比	60.0%

【渋滞損失時間の算出根拠】
速 度：H21民間プローブデータ
交通量：H17センサス(H21トラカン補正)
区 間：H22センサス
※国道以上を対象に表示

6. 埼玉県の混雑度

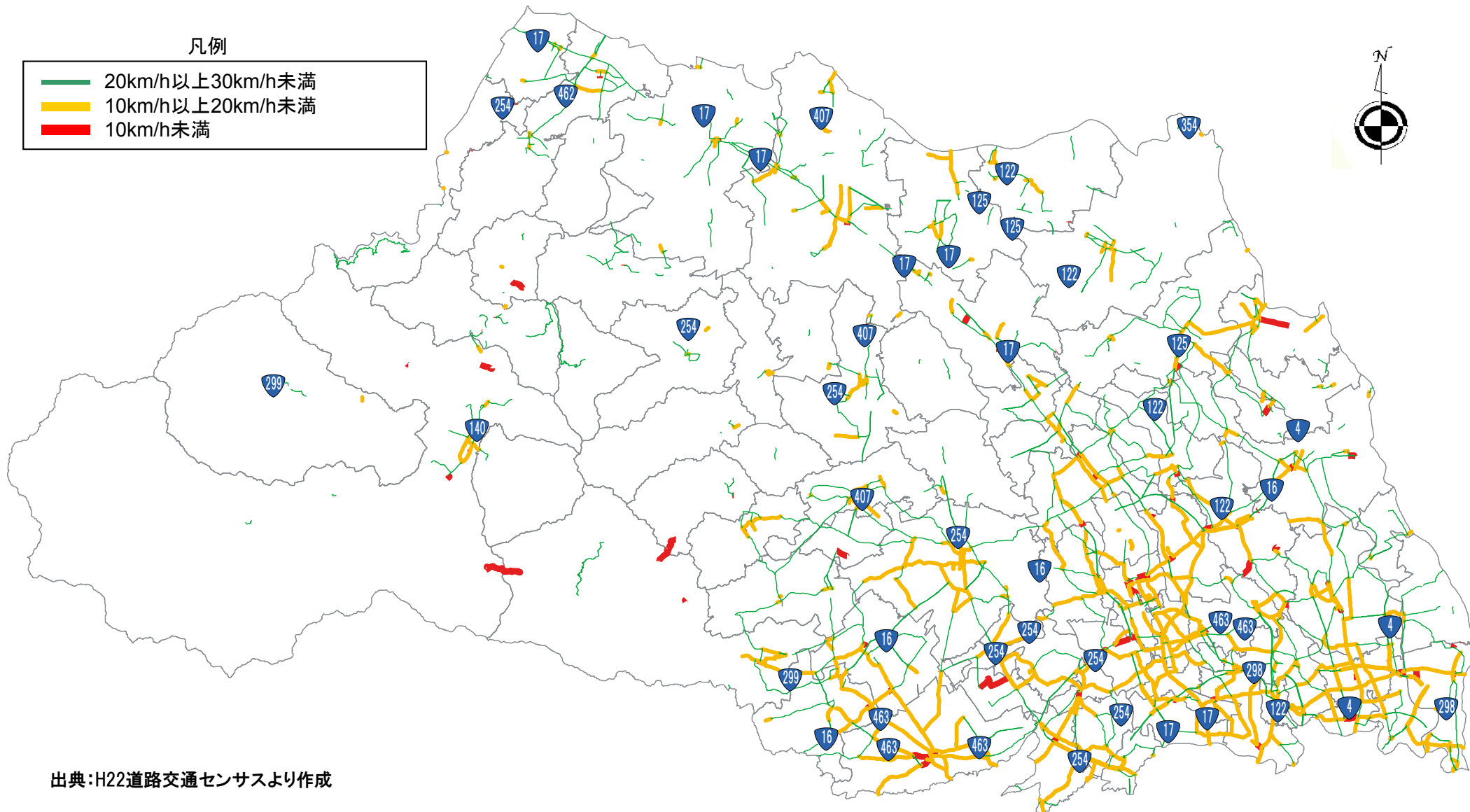
・埼玉県では、県の南部地域において、混雑度が高い。



7. 埼玉県の混雑時旅行速度

- 埼玉県では、**県の南部地域**において、**旅行速度が低下**が著しい。

混雑時旅行速度別路線図



8. 埼玉県の主な事故危険区間

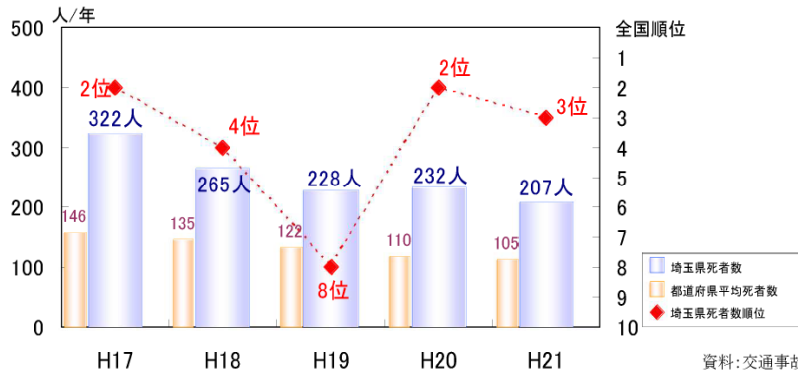
『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』

・埼玉県の主な事故危険区間は、県の南部地域に集中
⇒渋滞が多い地域では、事故発生の危険性も高い



※H23.10に川口市と鳩ヶ谷市は合併し、川口市となっています。

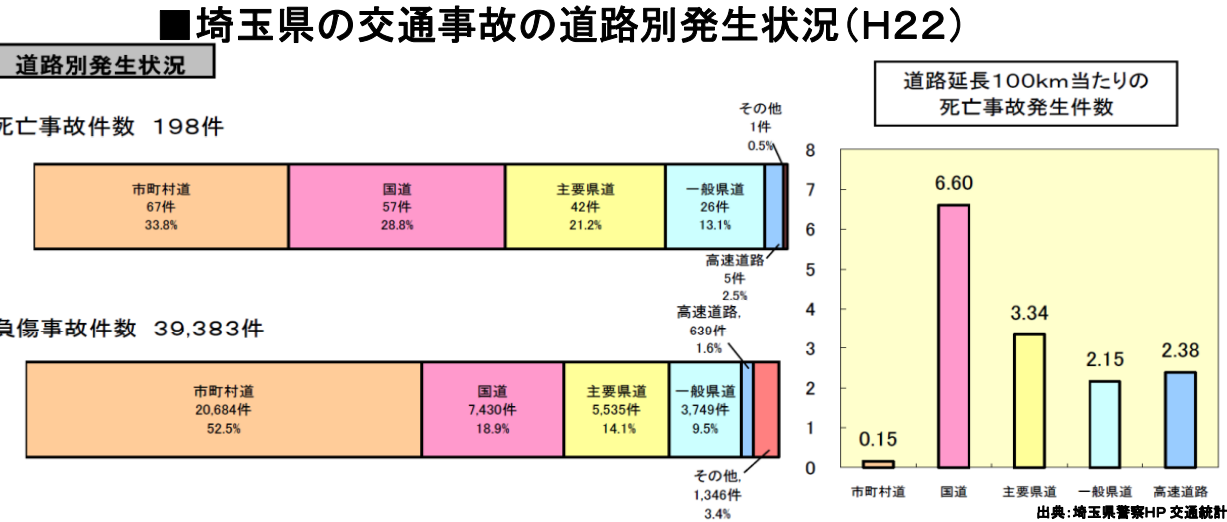
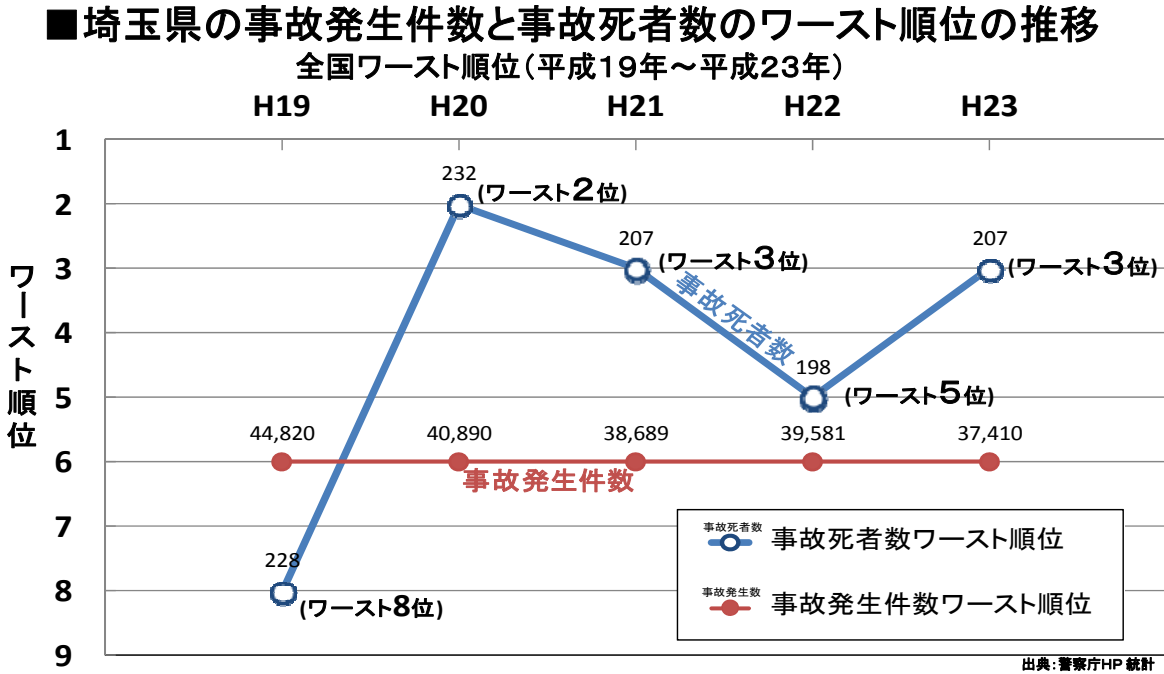
○県内の死亡事故は減少傾向にあるものの、全国ワースト上位に位置しています。



No.	路線名	対象区間(地先名)	交差点名	管理主体	選定の視点			
					死者発生数	死者発生率	パニックフリー※1	安全性の確保
1	国道4号	草加市西町	西町(中)交差点外	国	●	●	●	●
2	国道4号	草加市花栗一丁目	花栗(中)交差点	国	●	●	●	●
3	国道4号	草加市清門町	清門町(北)交差点	国	●	●	●	●
4	国道4号	草加市長栄町		国	●	●	●	●
5	国道4号	越谷市神明町二丁目	神明町(北)交差点	国	●	●	●	●
6	国道4号	越谷市千間谷東一丁目～春日市大枝	せんげん台交差点外	国	●	●	●	●
7	国道16号	入間市宮寺	宮寺交差点	国	●	●	●	●
8	国道16号	入間市福寿屋五丁目	福寿屋(南)交差点外	国	●	●	●	●
9	国道16号	入間市河原町	河原町交差点	国	●	●	●	●
10	国道16号	入間市黒須一丁目	黒須交差点	国	●	●	●	●
11	国道16号	狭山市狭山(狭山消防署付近)		国	●	●	●	●
12	国道16号	川越市新町	新町交差点	国	●	●	●	●
13	国道16号	川越市大字小仙波	小仙波(東)交差点	国	●	●	●	●
14	国道16号	さいたま市北区吉野町一丁目	吉野町交差点	国	●	●	●	●
15	国道16号	さいたま市北区今羽町	今羽(東)交差点	国	●	●	●	●
16	国道16号	さいたま市見沼区丸ヶ崎	丸ヶ崎交差点	国	●	●	●	●
17	国道16号	さいたま市岩槻区加倉	加倉(南)交差点	国	●	●	●	●
18	国道16号	春日市増戸	増戸(北)交差点	国	●	●	●	●
19	国道16号	春日市西金野井	南井入口交差点	国	●	●	●	●
20	国道17号	戸田市川岸一丁目	川岸一丁目交差点	国	●	●	●	●
21	国道17号	戸田市川岸三丁目～上戸田一丁目	本町交差点外	国	●	●	●	●
22	国道17号	さいたま市南区辻七丁目～辻二丁目	辻五反田交差点外	国	●	●	●	●
23	国道17号	さいたま市浦和区東五丁目～中央区新保五丁目	常盤七丁目交差点外	国	●	●	●	●
24	国道17号	さいたま市中央区新保五丁目～浦和五丁目	たつみ通り交差点外	国	●	●	●	●
25	国道17号	さいたま市中央区上落合七丁目～大宮区程保町四丁目	上落合交差点外	国	●	●	●	●
26	国道17号	さいたま市北区宮原町四丁目	宮原町四丁目交差点	国	●	●	●	●
27	国道17号	上尾市緑丘四丁目	緑丘二丁目交差点外	国	●	●	●	●
28	国道17号	北本市中丸四丁目		国	●	●	●	●
29	国道17号	鴻巣市東四丁目	鴻巣警察署前交差点	国	●	●	●	●
30	国道17号	鴻巣市箕田	箕田(南)交差点	国	●	●	●	●
31	国道17号	熊谷市石原一丁目		国	●	●	●	●
32	国道17号	熊谷市新堀	龍原駅入口交差点	国	●	●	●	●
33	国道17号	深谷市東方		国	●	●	●	●
34	国道17号	行田市下忍	下忍交差点	国	●	●	●	●
35	国道17号	行田市大字持田		国	●	●	●	●
36	国道17号	熊谷市上之	上之(南)交差点南側	国	●	●	●	●
37	国道17号	さいたま市南区曲本一丁目	田島地前交差点	国	●	●	●	●
38	国道17号	さいたま市桜区田島五丁目		国	●	●	●	●
39	国道17号	さいたま市桜区田島四丁目	田島交差点	国	●	●	●	●
40	国道17号	さいたま市桜区町谷一丁目	町谷交差点	国	●	●	●	●
41	国道122号	さいたま市桜区清町五丁目～桜区新町四丁目	岩槻駅入口交差点外	さいたま市	●	●	●	●
42	国道125号	熊谷市佐谷田	佐谷センター前交差点外	埼玉県	●	●	●	●
43	国道140号	深谷市田中	田中(北)交差点	埼玉県	●	●	●	●
44	国道254号	川越市藤間		埼玉県	●	●	●	●
45	国道298号	和光市新倉七丁目	松ノ木島交差点	国	●	●	●	●
46	国道298号	八潮市大字八枝	八条白鳥交差点	国	●	●	●	●
47	国道463号	さいたま市緑区中尾		さいたま市	●	●	●	●
48	国道463号	さいたま市緑区原山一丁目～大田一丁目	原山交差点外	さいたま市	●	●	●	●
49	国道463号	さいたま市緑区高砂二丁目		さいたま市	●	●	●	●
50	国道463号	入間市大字下湯沢		埼玉県	●	●	●	●

9. 埼玉県の事故発生状況

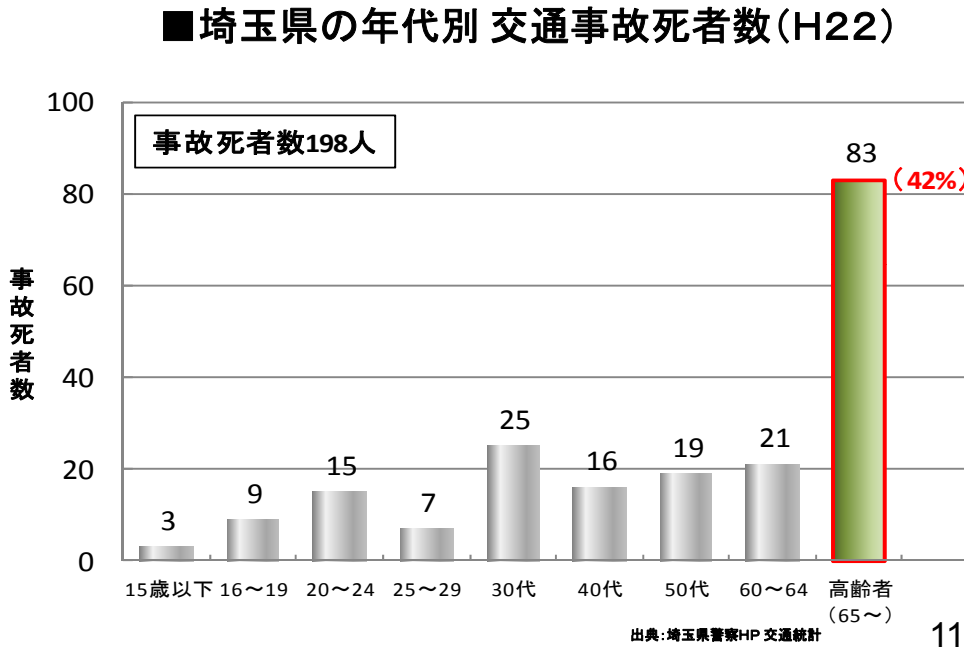
- ・埼玉県の交通事故死者数は全国ワースト3位(H23)
- ・負傷事故は、市町村道で半数以上が発生しているが、死亡事故は国道で多く発生している(約29%)
- ・高齢者(65歳以上)の方の死亡事故が約42%を占める



■ 事故死者数全国ワースト順位(H23)

ワースト順位	都道府県名	事故死者数
1位	愛知県	225
2位	東京都	215
3位	埼玉県	207
4位	兵庫県	198
5位	大阪府	197
6位	北海道	190
7位	神奈川県	180

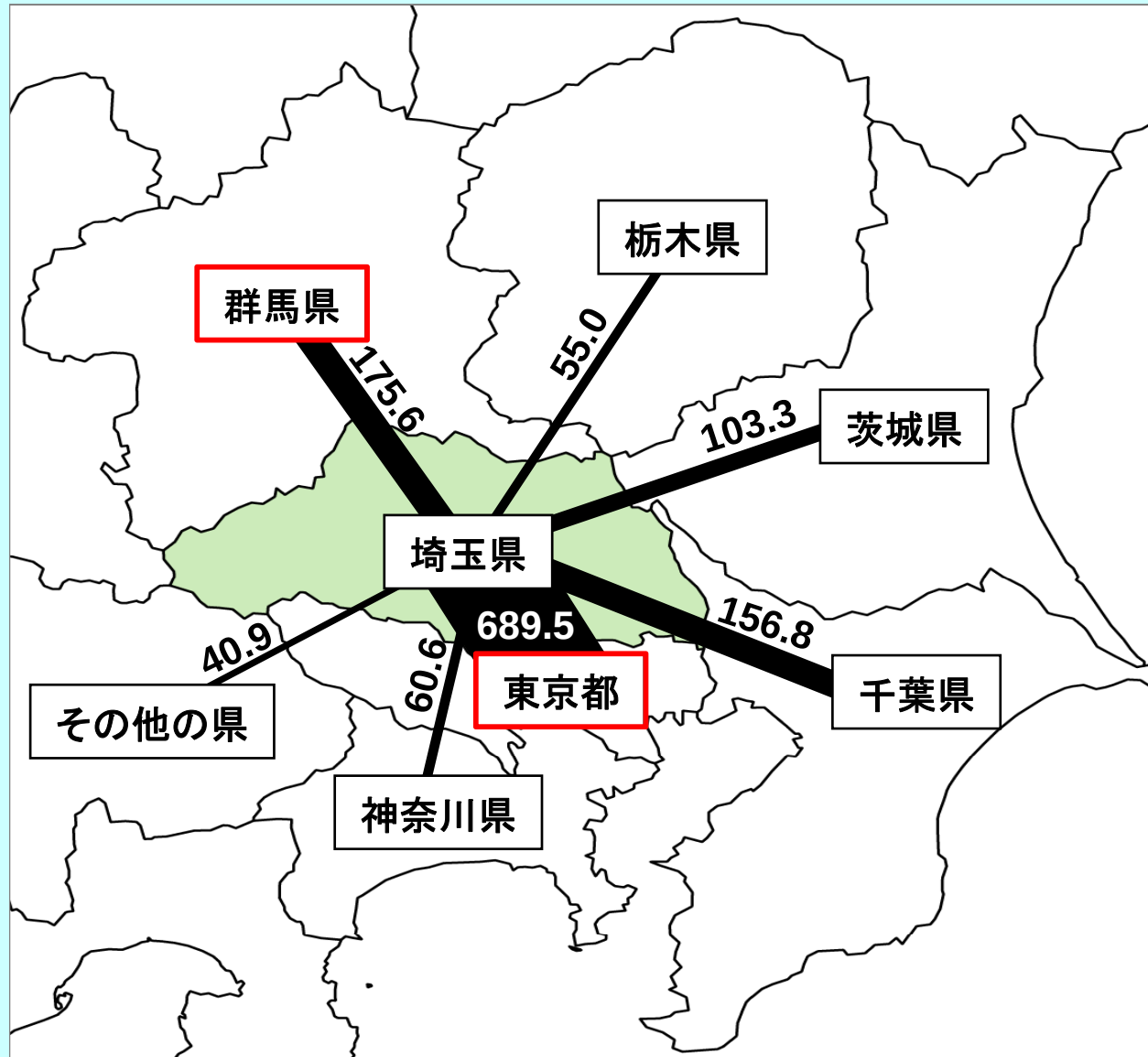
出典:警察庁HP統計



10. 埼玉県の地域間流動

- ・埼玉県の地域間流動は、**東京都**や**群馬県**など、**南北方向の結び付きが強い**

自動車地域間流動(全車) 単位:千トリップエンド



資料:平成17年道路交通センサス

11. 企業の誘致（企業立地の魅力）

- ・優れた交通インフラを有し、東京都という巨大マーケットに近接する埼玉県は、工場や物流拠点の立地検討先として高い評価
 - ・首都圏への拠点立地を考えている企業の75%が埼玉県北地域（圏央道以北）に関心あり
- 埼玉県における企業立地の魅力を更に向上させるため、渋滞等の交通課題解消、緩和が必要

立地先としての埼玉県の魅力

埼玉県の立地環境は、高速交通網をはじめとした優れた交通インフラや、首都圏という巨大なマーケットに近接している点が特徴として挙げられます。また既に立地している製造業の多種多様性も強みの一つです。さらに小規模な工業用地も多いことから、幅広い規模の企業に対して門戸が開かれていることが埼玉県の魅力であると感じています。

これらの魅力が、弊社のアンケート調査における埼玉県の高評価に繋がったといえるでしょう。

株式会社帝国データバンク 産業調査部長 小松崎五郎

【(株)帝国データバンク・企業立地に関する動向調査】

企業の進出検討先都道府県ランキング

(1,464社)

立地検討先順位	構成比	回答数
1	東京都	11.4%
2	埼玉県	8.2%
3	神奈川県	7.6%
4	大阪府	6.1%
5	千葉県	5.8%
6	愛知県	4.9%
7	福岡県	4.4%
8	兵庫県	3.3%
9	宮城県	2.9%
10	茨城県	2.4%

※本社所在地とは異なる都道府県への立地検討数ランキング

施設別立地検討先都道府県ランキング

①工場——1位 ②物流拠点——1位

本社が所在する都道府県以外の工場の立地検討先として、埼玉県が最も高い評価を企業からいただいています。

本社が所在する都道府県以外の物流拠点の立地検討先として、埼玉県が最も高い評価を企業からいただいています。

1	埼玉県 (24)	1	埼玉県 (49)
2	千葉県 (21)	2	神奈川県 (32)
3	神奈川県 (17)	3	大阪府 (28)
4	愛知県 (15)	4	千葉県 (27)
5	東京都 (12)	5	東京都 (22)

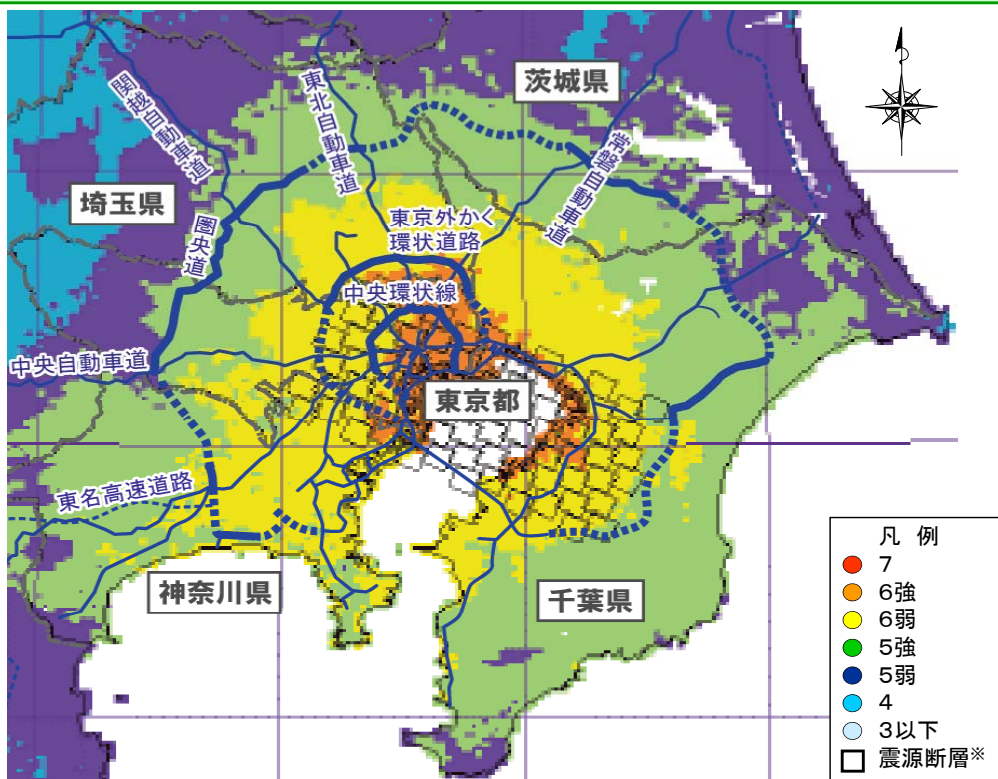
※()内は企業数 〈調査:2009年12月実施〉

資料:埼玉県企業立地ガイド 平成22年度版

12. 防災（首都直下地震時の首都圏への応援等）

- 南関東でM7クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70%程度と推定（政府・地震調査委員会）
- 災害復旧、被災者支援のためには、災害時にも機能する環状道路等の道路ネットワークが重要

■首都直下地震の震度分布 ～東京湾北部地震(M7.3)想定震度～



出典：平成22年版防災白書の震度分布に首都圏三環状道路の図を記載

※地震を起こした断層

■首都直下地震時の物資調達、応援部隊の派遣



首都直下地震の被害想定

- ・建物全壊 約85万棟
- ・死者数 約11000人
- ・経済被害 約112兆円 等

※H17中央防災会議資料より

凡 例	
	国土交通省施工
	高速道路会社施工
	合併施工

高規格幹線道路	
	供用中
	未供用
首都高速道路	
	供用中
	未供用

■1都4県への物資調達量※1、応援部隊の派遣※2

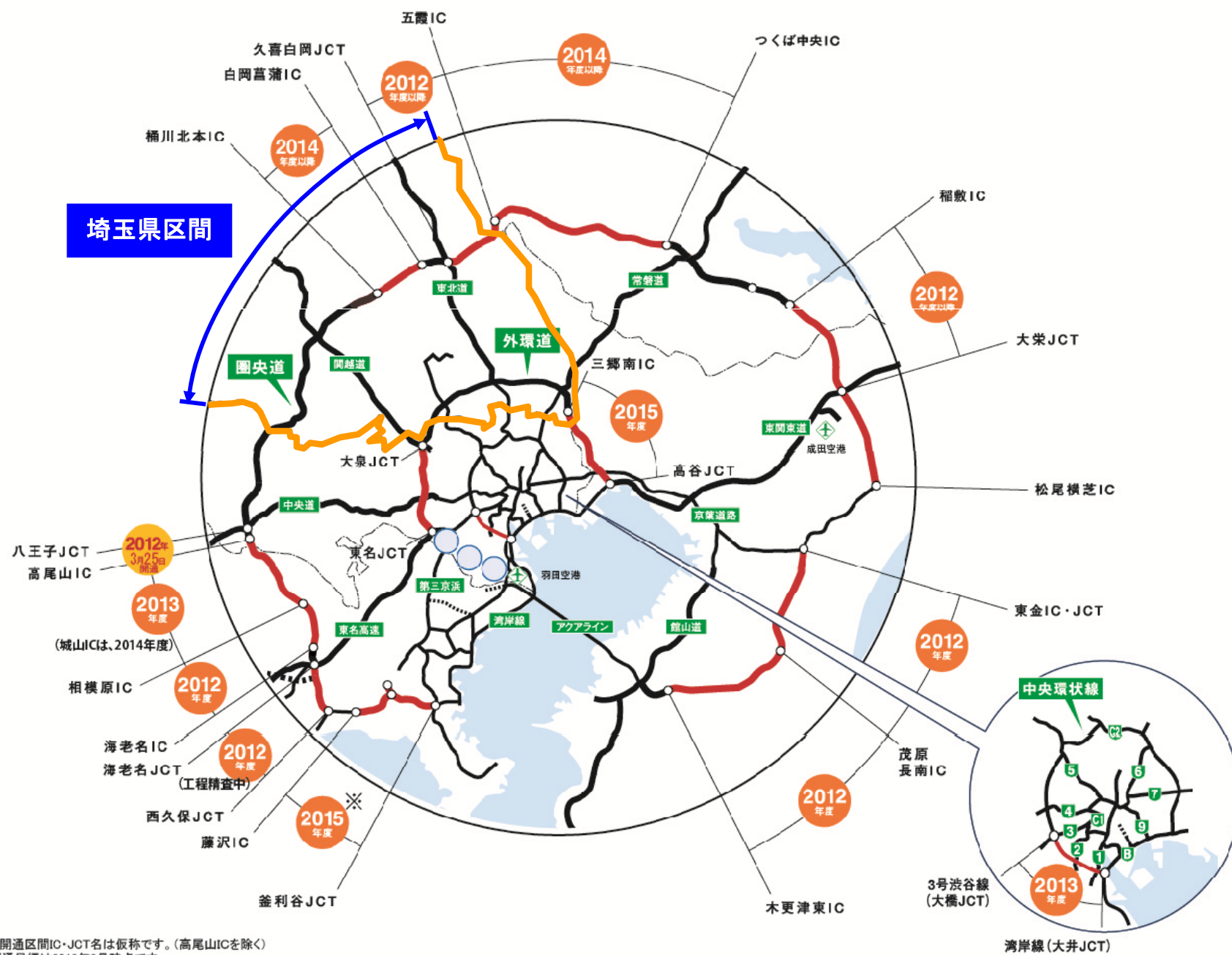
- ・食料 約7500万食
- ・飲料水 約16,500t
- ・毛布 約95万枚
- ・応援規模(自衛隊等)約12万人 等

※1物資調達量 : 発災後1週間分

※2応援部隊の派遣 : 応援部隊の派遣数は最大値

※物資調達量、応援部隊の派遣は「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画より引用（H20.12.11中央防災会議幹事会）

13. 首都圏3環状道路の開通予定



- * 未開通区間IC・JCT名は仮称です。(高尾山ICを除く)
- * 開通目標は2012年2月時点です。
- * ※印区間の開通年度については検討が必要。

出典:国土交通省

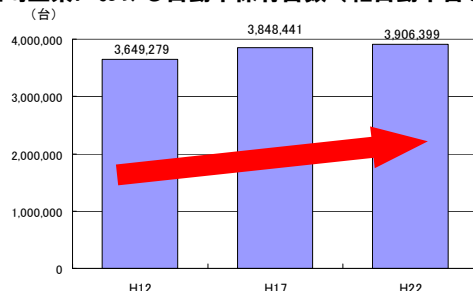
14. 埼玉県の道路交通状況【総括】

■自動車への依存度が高い

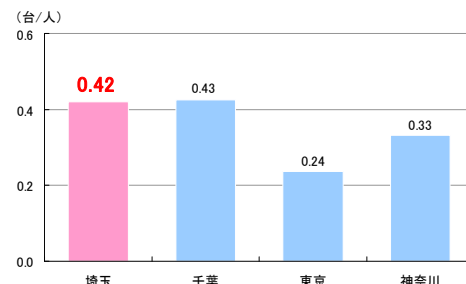
○埼玉県内の自動車保有台数は増加傾向

○埼玉県の人口当たりの乗用車保有台数は、千葉県と並び一都三県で最も多い

■埼玉県における自動車保有台数（軽自動車含む）



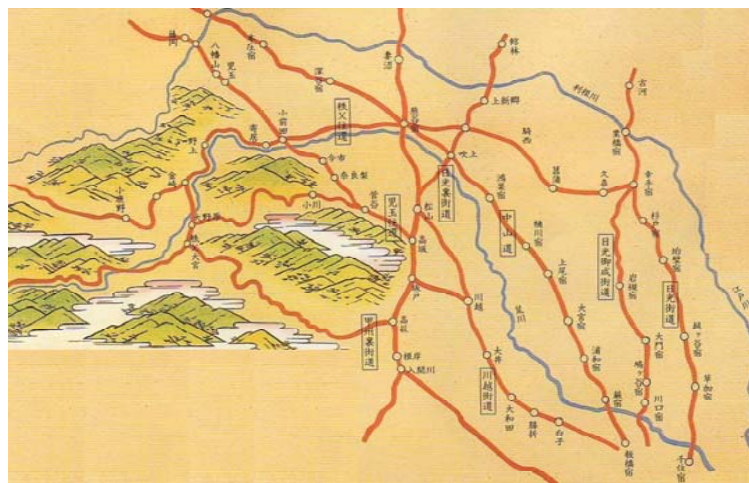
■人口当たり乗用車保有台数（一都三県の比較）



■東西方向のネットワーク不足 南北方向の交通集中

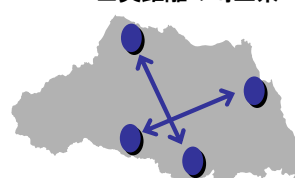
○埼玉県の道路網は、歴史的に江戸時代の街道が基幹的な幹線道路へと変化したことや、荒川などの河川が南北に位置するなど地理的な分断要素により、南北方向に比較し東西方向の道路が脆弱

■江戸時代の街道網

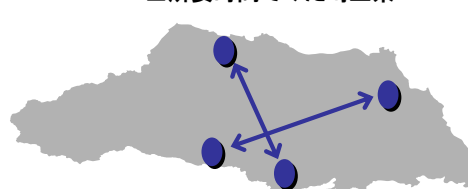


渋滞の発生

■実距離の埼玉県



■所要時間でみた埼玉県



■首都圏に近接する埼玉県

○優れた交通インフラを有し、東京都という巨大マーケットに近接する埼玉県は、工場や物流拠点の立地検討先として高い評価

○首都圏への拠点立地を考えている企業の75%が埼玉県北地域（圏央道以北）に関心あり

→埼玉県における企業立地の魅力を更に向上させるため、渋滞等の交通課題の解消・緩和が必要



■交通の集中

○埼玉県との地域間流動をみると、東京都や群馬県等、南北方向の結び付きが強い

